

あなたに贈る健康へのメッセージ —— 知ってください病院のこと、身体のこと

2015
第21巻
第3号

医科大だおり

CONTENTS

- 新型CTについて
- 病棟紹介（新館8階東病棟）
- 医療チーム紹介 - 褥瘡対策チーム -
- リハビリニュース
- 研修医紹介
- がん相談支援センターのご案内
- はじめまして
- 私の好きな風景
- 医科大Q&A

医科大だおり

2015年 季刊誌 第21巻 第3号 発行/金沢医科大学病院

編集/金沢医科大学病院二ニュー編集委員会



内灘町福祉センター前より見た金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

はじめまして

妊娠したと分かるときに、うれしい気持ちの半面、不安な気持ちになりました。妊娠中、私たちが不安に思うこと、心配になったことがあった際には、先生や助産師さんにアドバイスをしてもらい安心することができました。おかげ様で、楽しく妊娠生活を送ることができました。また、直接目に見えないお腹の中の赤ちゃんのことで少しでも気になることがあれば、他の科の先生にも診ていただく等して総合病院の利点を活用することもできました。出産後は母乳がうまく出ず、悩んだことがありましたが、助産師の皆さんが親身になって相談に乗って下さり、徐々にできるようになりました。妊娠が発覚したときから、医科大学病院スタッフの皆様から親切にサポートしていただき、無事に可愛い赤ちゃんを出産し、一緒に退院することができました。本当にありがとうございました。



山口さま

- おとうさん 元彦さま
- おかあさん 祥子さま
- 赤ちゃん 莉士(りひと)くん
平成27年10月12日生
3,192g 男の子

私の好きな風景

石川県の公式マスコットキャラクター（ゆるキャラ）である「ひやくまんさん」のバルーンが金沢城公園の五十間長屋をバックにして宙に舞っている姿は、何とも微笑ましい。これから先、県外にも更に知れわたり益々人気者のキャラクターになることを願う。



撮影：出版メディア業務課 中谷 渉

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

- 当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。
- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
 - 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
 - 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
 - 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン（他の医療機関の医師の意見）を求めることができます。
 - 診療記録の開示を求めることができます。
 - プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
 - 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

- 当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。
- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
 - 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
 - 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
 - 病棟のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
 - 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

お答えします！ 医科大Q&A

Q 粉薬がうまく飲めなくて困っています。 (60代女性)

A 粉薬は、水やぬるま湯に溶かして飲むだけでも多少飲みやすくなりますが、お薬が口の中に広がるのが苦手な方は、オブラートに包んだり専用のゼリーに混ぜてみたりしてはいかがでしょうか。また、空のカプセルに詰めて飲むという方法もあります。こうすることで粉薬独特の喉のねばつきがなくお薬を飲むことができます。いずれもお近くの薬局で購入することができます。お薬によって溶けないものや、味が変わって飲みづらくなるものもあるので、主治医や薬剤師にお気軽にご相談下さい。(薬剤部)

新型 CT の導入について

当院では、12月より新たに最新機種である SOMATOM Force という県内初の新型 CT 装置を導入します。

新型CTの特徴

CT検査はX線を利用して身体の断面を撮影する検査ですが、新型CT装置ならではの特徴として次のようなことがあります。

- ①管電圧や管電流などX線を出すための条件をこれまで以上に自由に設定でき、検査目的や患者さんの体格によって最適な条件で検査することができます。
- ②撮影スピードはCT装置の中で世界最速であり、短い時間で広い範囲を撮影できます。
- ③ノイズ（画像のざらつき）の少ない綺麗な写真を撮ることができます。
- ④造影剤を使用して検査する時、今までより使用量を減らすことができます。

*造影剤：ヨード造影剤と言い、普通に撮影を行うよりも詳しく血管や臓器を調べることが出来るお薬です。



新型CT装置の外観

患者さんのメリット

①被曝線量が少ない

管電圧や撮影スピードの設定を変えることによって被曝線量を減らすことができます。例えば肺のCT検査の場合、最少で胸部レントゲン写真と同程度の被曝線量で検査することもできます。

②息止め時間が短い

撮影スピードが速いので息止め時間がとても短く、息止めができない患者さんでも検査することができます。また、長時間じっとしてられない乳幼児や常に動いている心臓の検査も可能です。例えば肺のCT検査の場合、最速で0.3秒程度で撮影することができます。

③造影剤を使用する検査でも身体への負担が少ない

造影剤の使用量が少ないので、それだけ身体への負担も減らすことができます。



新生児の心臓CT画像

今後CT検査を受けられる患者さんへ

この度の最新 CT 装置の導入により、今まで以上に患者さんにとって負担が少なくメリットの大きい検査が可能となりました。今後もより患者さんに優しい検査（撮影に応じての適正な放射線量など）を行っていきます。検査に関して不安や疑問がある方はお気軽にスタッフまでお尋ねください。

(記：中央放射線部 CT スタッフ)

病棟紹介（新館8階東病棟）

新館8階東病棟は、一般・消化器外科および乳腺・内分泌外科35床、整形外科15床での計50床の病棟です。手術は、平成26年度は242件行われており、多い時には1日7件もの手術が行われます。また、外科病棟ではありますが手術のみでなく、化学療法や放射線療法、症状緩和、リハビリテーションなども行っています。

各担当科の主な疾患

一般・消化器外科：胃、大腸、膵臓、食道、胆嚢、胆管などの疾患が多い
乳腺・内分泌外科：乳腺の疾患が多い
整形外科：変形性股関節症、変形性膝関節症、椎間板ヘルニア、頸椎症など

チーム医療

思いがけず病を患った方が安全・安楽に療養生活が送れるよう、多職種の方々（医師、薬剤師、看護補助員、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなど）と連携して看護ケアを提供しています。また、最近是在宅療養支援専任看護師やソーシャルワーカー、地域の訪問看護師、ケアマネージャーと共に、患者さんの意思を尊重しつつ、住みなれた地域で必要な医療・看護・介護を受けて安心して生活できるように入院中から本人・家族に関わっています。さらに、がんで闘病する方々の日常生活の質を維持するため、がんリハビリテーションを積極的に実施しています。私たちは、日々のカンファレンスでそれぞれの専門性を活かして意見を出し合い、時には患者さんや家族の方にも参加していただき、よりよい療養生活が送れるような支援に努めています。



病棟スタッフ

看護師の休日

ここでは、新館8階東病棟で勤務する看護師たちの休日の過ごし方をご紹介します。



お華

坂本 妙子

私の仕事への活力:華道

お華のお稽古が終ると、すっきりして楽しい気分になります。先生がおっしゃるには、仕事の時とは違う脳を使うからだそうです。四季おりおりの華にふれる中、季節を感じ、華を生けながら沢山の方とお話する空間は、私にとって豊かな発想力を養う場となり、それが看護場面に活かされるよう、日々頑張っています。



スキューバダイビング

日向 千恵子

私のパワーの源

私がスキューバダイビングを始めてから早やうん十年。命を預かる仕事をしていると、ふっと非日常に逃避したくなり、世界の色々な海に出かけて潜り、海の生き物や自然の壮大さに触れパワーを貰っています。この大自然から頂いたパワーを患者さんに伝えられるように看護しています。

(記：新館8階東病棟 師長 松田琴美)

医療チーム紹介—褥瘡対策チーム—

褥瘡(じょくそう)とは？

褥瘡とは、寝たきりなどにより、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり、滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的に「床ずれ」ともいわれています。

長時間寝たきりで、栄養状態が悪く、皮膚が弱くなっている人は褥瘡になりやすいといえます。褥瘡は一人一人原因と状態が違いますので、個別の対策やケアが必要になります。



回診風景

褥瘡対策チームとは、どんな事をしているの？

褥瘡対策チームは、2002年に発足し、現在では褥瘡対策委員会の委員が中心となり、患者さん一人一人にあった個別の対策やケアが行えるように活動しています。

委員会は、医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、事務で構成されており、マットレスの整備、事例検討会、職員対象の講演会の開催等の活動を行っています。また、週1回の褥瘡回診では、褥瘡対策チームが患者さんのベッドサイドへ行き、褥瘡の傷だけでなく、マットレスや栄養面、運動面等の様々な評価を行い、より患者さんにあった個別の治療や予防を行っています。

また、褥瘡は治りにくいため、治癒しないままに退院や転院になったり、治癒しても再発したりする可能性が高いため、継続した予防ケアが必要です。褥瘡対策チームでは、退院された患者さんの褥瘡に関するケアに関する相談もお受けしております。相談を希望される方は、まず皮膚科外来を受診してください。



褥瘡対策チームメンバー

(記：褥瘡対策チーム 皮膚・排泄ケア認定看護師 香谷 泉)

リハビリニュース

心臓リハビリテーションってなに？

当院では心不全、狭心症、心筋梗塞、心臓術後等の患者さんに心臓リハビリテーションを行なっています。

心臓リハビリテーションは運動療法だけではなく、医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士など多くの職種が関わって、社会復帰と再発予防のために生活習慣の改善をめざしていきます。

①**運動療法**：ストレッチ、呼吸方法の指導、有酸素運動、筋力トレーニングなど実施しています。

②**健やか教室**：生活習慣の改善のため健やか教室を開催しています。教室では心臓や病気の知識、ストレス、薬、減塩（食事）、運動、禁煙、飲酒、水分摂取など日常生活の様々なポイントについて学びます。教室は、病院新館10階東デイコーナーにおいて、週4回（月・火・木・金）11:00から20分程度行われており、どなたでも予約なしでご参加いただけます。

③**運動負荷試験（CPX）**：社会復帰の際の不安を解消するために運動負荷試験を実施して、運動可能な強度を測定し、心臓に負担のかからない生活や運動の方法を指導します。



健やか教室



運動負荷試験

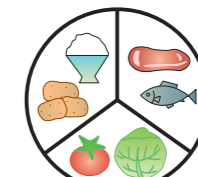
生活改善のポイント

安心して自宅に戻り、社会復帰できるようにリハビリテーションを進めています。

退院後の生活改善が再発の予防、死亡率の低下、再入院率の減少につながる事が報告されています。退院後の継続が大切です。



お薬



食事



運動



禁煙

(記：リハビリ心大血管グループ)

研修医紹介

このページでは、当院で勤務する研修医を紹介します。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

1年次初期臨床研修医
鞠子 千安紀 (まりこちあき)
大阪府出身



【医師を志したきっかけ】

私は母方が医師家系であり、幼少から母を始めとし医師の存在が身近にある環境で育ち、漠然と医師に憧れを抱いていました。しかし、子供を二人育てながら小児科医として日々忙しく働き夜遅く家に帰ってくる母から、医師という仕事の大変さや責任の重さを目の当たりにし、自分にはなることのできない職業だと感じていました。転機は高校2年生のときで、進路に迷い自分が将来どのような大人になりたいかを真剣に考えたときに、私も医師になって人の役に立ちたいと思いました。医学部に入るまで、そして医学部での勉強は大変でしたが、両親や先生、友人など周りの方々に支えられ医師になることができました。

【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

麻酔科での研修中に大量出血を起こし、その後麻酔科医師と外科医師とオペ室の看護師が一丸となって患者を救い、無事にオペを終えたことがありました。医療行為は危険と隣り合わせですが、患者の為に皆で協力するのが大事だと実感しました。視野を広く持ち、他職種の方々と連携して日々学んでいきたいです。



2年次初期臨床研修医
平井 太郎 (ひらい たらう)
福岡県出身

【医師を志したきっかけ】

私が医師を志したきっかけは父、叔父が医師であるという環境で育った事です。

父や叔父の実際の仕事をしている現場にはほとんど立ち会った事はありませんでしたが、家で仕事の話を楽しそうにする父を見て自然と同じ道を志すようになって

いたのだと思います。また中学、高校では同じ道を目指す友達が数人いたため、そのことも当時の自分にとってはいい刺激になっていたと思います。

【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

研修が始まってはや一年半が経過しました。現在研修している救命救急科では外来研修、救急車の対応で幅広い知識や手技の経験が出来るので充実した日々を実感できています。研修で科が変わるときに担当の患者さんに「さみしいです。違う科にいつでもたまに会いに来て下さいね」と言われた時にはこの職業につけて本当に良かったと思いました。まだまだ経験も知識も不足している状態ですが、患者さんの為により良い医療を提供できるよう日々勉強し精進したいと思います。

がん相談支援センターのご案内

がん相談支援センターでは、がんの病気や治療、療養生活の相談と情報探しのお手伝いにお応えしています。がんに関する不安や悩みのある方は、当院へ通院中の方でなくてもどなたでもご利用が可能です。ここでは、専門のソーシャルワーカーがお話を聴き、患者さんと共に考え、患者さん自身が決めていけるよう支援を行っています。現在5名のソーシャルワーカーが相談対応を行っております。医療情報については、がん治療専門の医師や看護師と連携を行い、情報提供をしております。事前予約は不要ですので、お気軽にお立ち寄り下さい。また、下記の事業も行っておりますので、関心を持たれた方は、お気軽にお問合せ下さい。

主治医とうまく対話ができなくてとても悩んでいる

収入面が心配。活用できる制度はないの

治療の説明を聞いたが、どうしていいかわからない

働きながら療養生活するのが大変で困っている



がん相談支援センターでは、ご本人、ご家族のお気持ちを聴くことから支援を開始しています。がんと診断され、「誰かに話を聞いてもらいたい」と思ったときなど、お気軽にご相談下さい。お聴きした内容は患者さんの了解なく外部に漏れることはありません。



がん相談支援センタースタッフ

【がん就労相談】

毎週月曜日(祝日の場合は木曜日) 9時～13時

新館1Fソーシャルワーカー相談室3

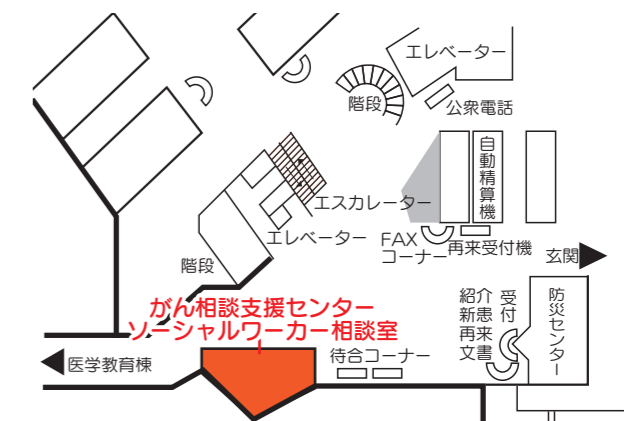
専門知識を持った社会保険労務士が対応しています。

【患者サロン(やわらぎ)】

毎月第1金曜日13時～14時開催 院内の会議室

「やわらぎ」では実際にがんと診断され、病気と闘っている患者さんやそのご家族などが参加されています。

※開催場所については、毎月院内掲示されるやわらぎの案内をご確認下さい。



窓口の連絡先：がん相談支援センター (ソーシャルワーカー相談室)

対応時間：平日8:45～17:00、土曜日8:45～12:45 日曜・祝日、当院休診日はお休みです

電話：076-286-3511(代表)、076-218-8217(直通)

内線：6157～6158、6153、6181～6182